

すみだモダン

活動レポート 2024

Sumida Modern Activity Report 2024



こころ、ゆさぶる。

すみだ
モダン



こころ、ゆさぶる。

すみだ モダン

こころ、ゆさぶる。

すみだモダン

いまだけではない、100年先のこころよさを。

自分だけではない、より多くの人へのよろこびを。

またたしい、鮮やかな感動を求めて。

こころ、ゆさぶる。

つくる想いが、心を動かしていく。



「こころ、ゆさぶる。」すみだモダン PRムービー
<https://www.youtube.com/watch?v=jAr5wjiMqq8>

すみだモダンとは

墨田区では、東京スカイツリー®の誘致決定をきっかけに、ものづくりのまちとしての産業ブランド力を国内外に広くPRすることを目的として「すみだ地域ブランド戦略」を2009年から開始しました。

主な事業として区内の付加価値の高い商品や飲食店メニューを「すみだモダン」の名称でブランド認証し、数々のPRを行ってきました。

2021年9月からは事業全体の名称を「すみだモダン」としてリニューアルし、「商品そのもの」だけでなく、そのバックグラウンドにある事業者の「活動」も含め、新しい産業プロモーションを推進しています。

「すみだモダン」の主な活動 ACTIVITY

<p>つながる</p> <p>パートナーシップ連携</p> <p>[P.4~8]</p>	<p>つくる</p> <p>フラッグシップ商品開発</p> <p>[P.9~11]</p>	<p>つたえる</p> <p>ブランド コミュニケーション展開</p> <p>[P.12~13]</p>	<p>台湾・千葉 大学連携</p> <p>台湾・千葉大学連携</p> <p>[P.14~15]</p>
--	---	--	---

4つの理念 PHILOSOPHY

「すみだモダン」の定義は「ものづくりを通して、未来のスタンダードを創造し、人々の幸せを育む活動」です。理念は以下の4つとし、これに合致する事業者の活動を「すみだモダン」と呼称します。

<p>1</p> <p>未来への 約束を果たす</p>  <p>SUSTAINABLE 持続可能性</p>	<p>2</p> <p>知恵を集めて 新しい価値を創る</p>  <p>CO-CREATION 共創性</p>	<p>3</p> <p>粋な視点と遊び心を 大切にする</p>  <p>ORIGINALITY 独自性</p>	<p>4</p> <p>様々な人の 幸せなつながりを育む</p>  <p>DIVERSITY 多様性</p>
---	---	--	--

つながる

すみだモダンパートナーシップ連携

事業者同士、そして墨田区がつながり、ともに「ものづくりのまち すみだ」のブランドをPRしていきます。「すみだモダン」の理念の浸透を図り、「すみだモダン」の新たな創出と発掘を目指し、「すみだモダンコミュニティ運営」「すみだモダンブランド認証」という2つの事業を実施しています。

1 すみだモダンコミュニティ運営

誰でも参加できるコミュニティを運営。事業者同士のつながりを生みだし、新たな「すみだモダン」の創出を目指します。「すみだモダンコミュニティ」に登録した事業者は「すみだモダンオープンパートナー」となり、以下の特典やメリットを受けられます。

すみだモダンオープンパートナーの特典

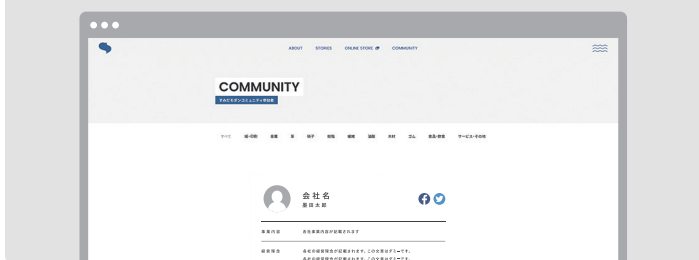


すみだモダンコミュニティのイベントに参加できます。

ビジネスマッチングの機会創出
協働による課題の解決
複数事業者によるイベントの共同開催

※事業者間の仲介は事務局がサポート。さまざまな職種の事業者とつながることができます。講演会・交流会・勉強会等のパートナー限定イベントを開催。

公式サイト内限定ページ



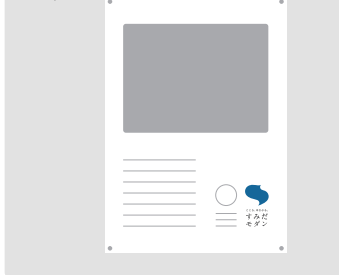
オープンパートナー限定情報にアクセスできます。

- 公式サイト内すみだモダンコミュニティページの閲覧
- メールマガジン「こころ、ゆさぶる。」通信の受信

チラシ・名刺



ポスター



すみだモダンのロゴが入ったPRツールを活用できます。

事務局で作成したチラシやポスター等の各種PRツールを使用可能。

オープンパートナーの詳細・登録方法は
こちらから公式サイトをご覧ください。



つながる

すみだモダンコミュニティ

2024年度からは「すみだモダンフラッグシップ商品開発」で指揮を執ったクリエイティブディレクターの廣田尚子氏と、地域に根差した活動をしているクリエイター集団であるすみだクリエイターズクラブの運営により開催。毎回、事業者同士の「つながり」を作るイベントを実施しており、地元の飲食店を招いて美味しいものを提供するカフェタイムも好評。



廣田尚子氏について

プロダクトデザイナー。東京藝術大学デザイン科卒業。GKプランニングアンドデザインを経てヒロタデザインスタジオ設立。製品開発だけでなく、デザイン経営視点で企業ブランディングからビジネススキームまで総合的なコンサルティングも行う。東京ビジネスデザインアワード審査委員長(2019～2020年)、グッドデザイン賞審査委員、2021年よりすみだ地域ブランド推進協議会理事兼クリエイティブディレクター。



第1回すみだモダンコミュニティ

日時：2024年6月20日午後2時～午後5時

場所：すみだ北斎美術館講座室 (MARUGEN100)

内容：新すみだモダンコミュニティの説明、すみだクリエイターズクラブの紹介
講話「ものづくりの挑戦・失敗・再起」(個人事業「そらえ」代表 齋藤靖之氏)



第2回すみだモダンコミュニティ

日時：2024年7月18日午後2時～午後5時

場所：SUMIDA INNOVATION CORE

内容：ワークショップ「クリエイターと一緒に自社を解剖して未来を描こう！」
(有限会社ヒロタデザインスタジオ代表取締役 廣田尚子氏)



第3回すみだモダンコミュニティ

日時：2024年9月26日午後2時～午後5時

場所：SUMIDA INNOVATION CORE

内容：ディスカッション「すみだをもっと盛り上げるデザイン会議」みんなの視点で地域の“近未来”を話そう！(一般社団法人墨田区観光協会事務局長 平尾伸子氏、墨田区商店街連合会事務局長 井上佳洋氏)



第4回すみだモダンコミュニティ

日時：2024年10月17日午後2時～午後5時

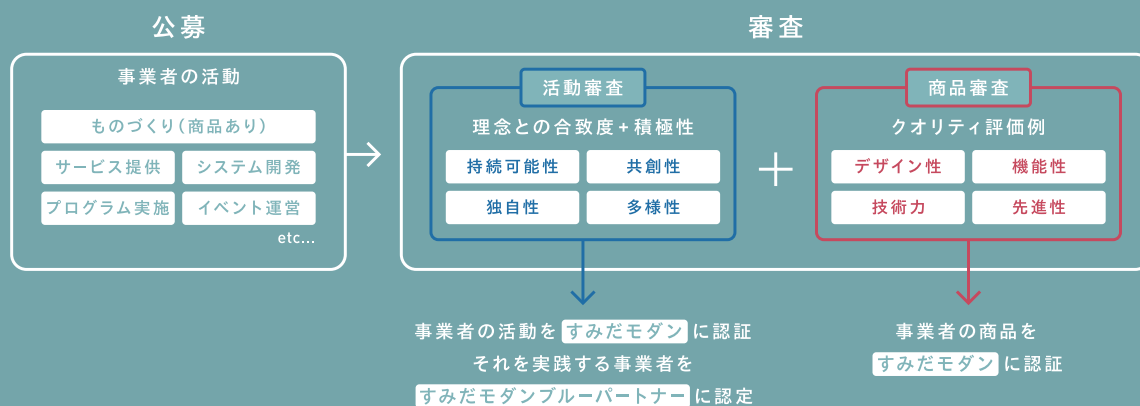
場所：SUMIDA INNOVATION CORE

内容：セミナー「SNSで広げる地域パーソンとの絆」～墨田区で起こったネット縁の事例～
(久米繊維工業株式会社取締役相談役 久米信行氏)

つながる

2 すみだモダンブランド認証

すみだモダンの理念との合致度等を基準に事業者の「活動」をブランド認証します。活動に関連する「商品」がある場合は「活動の審査」とともに「商品審査」を行います。ブランド認証を獲得した事業者は「すみだモダンブルーパートナー」となり、専用のロゴマークを使用できるほか、展示会や各種媒体等で優先的な取り扱いを受けることができます。2024年度は厳正な審査の結果、5つの「活動」と3点の商品・シリーズが認証されました。



【認証商品】御守りのようなオブジェ「人鳥願具」

真鍮鋳物を扱うブランド「R Brass」の展開で砂型鋳造という技術を次世代に継承する活動

有限会社芝崎合金鋳造所



区内でも希少となった砂型鋳造の技術と製品の魅力を、真鍮鋳物を扱うブランド「R Brass」を通じて伝える活動。砂型鋳物の製造工程で使用される砂や真鍮端材は再利用が可能であり、高い循環性も有している。すみだ水族館の飼育スタッフ協

力のもと、TOTO株式会社と共同開発した“御守りのようなオブジェ「人鳥願具」”を開発するなど、砂型鋳物特有のテクスチャーを生かした製品開発にも取り組み、その技術を継承している。

つながる



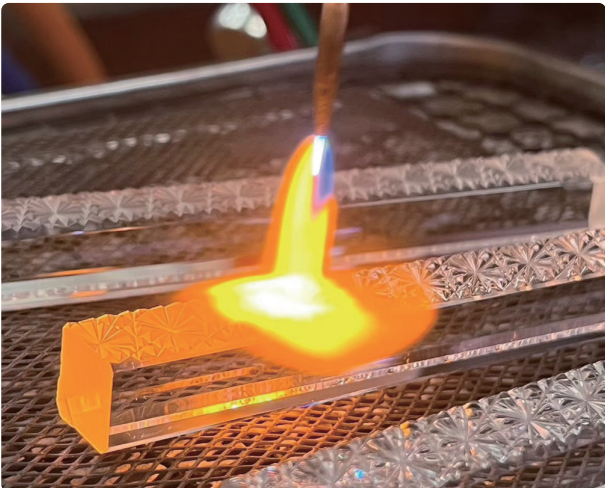
墨田区の町工場から提供された多種多様な素材を使ってこどもの主体的な遊び場「あそび大学」を展開する活動

特定非営利活動法人あそび研究会



区内の町工場から提供されるさまざまな素材を用いて、子どもが自由に遊べる環境を展開する「あそび大学」。多様な製造業が集積する墨田区の特徴を活かした取り組みであり、自主性や創造力、そして地域への愛情を育むことをめざしている。NPO

法人、大学、デザイナーが連携して生まれたこのプロジェクトには2021年のスタート以来、延べ4000名以上の子どもたちが参加。2024年には「キッズデザイン賞最優秀賞（内閣総理大臣賞）」を受賞している。



【認証商品】クラルト ガラスペン acari

実験用ガラス製品メーカーによる耐熱硝子素材の特性を活かした日用品を開発する活動

有限会社竹内製作所



理化学実験用等で使用されている耐熱硝子でフラスコや試験管等を製造してきた竹内製作所が、耐熱硝子素材の魅力と可能性を、自社開発の日用品を通じて伝える活動。ガラス本来の美しさを有し、修理可能な特性を持ったガラスペンなどの日用品

を自社ブランド「clarto」で展開している。耐熱硝子の加工を手作業で行う同社の技術は、全国的にも希少性が高い。書店等と協働した商品開発にも取り組むほか、区内事業者とも連携し、すみだの地場産業であるガラス産業の魅力を広く伝えている。

つながる



【認証商品】^{みたて}MITATE 金属の割り箸

既存製品を自社の技術を通して見立て直し新たな価値を創造する活動

株式会社石井精工



古いものや使い捨てられていた物事を、自社の技術を通して新しい価値へと見立て直すブランド「MITATE」。その第一弾は“割り箸”に着目している。ゴム金型の設計・製造技術を生かした金属の嵌め合いにより、割り箸を割るときのパキッとした感覚を

再現。ユーモアも感じられる使い捨てしない割り箸を実現した。MITATEプロジェクトは他の区内事業者とも連携し、高い製造技術を応用した新たな価値を提案し続ける。



廃棄物から新たなゴム素材を開発しゴムの未来性と独自技術を Sample Book で伝える活動

東商ゴム工業株式会社



ゴムローラーを製造する際、毎月約500kg発生する研磨粉という産業廃棄物。東商ゴム工業はこの廃棄物を、独自の再生ゴム素材として開発することに成功し、引き続き開発を進めている。さらに、自由に手軽に成形できるオリジナル素材の開発など、ゴム素材の

未来を開拓していくパイオニア的存在である。創業60年における自社技術とゴム素材の魅力・可能性を伝えるためにデザイン性の高い Sample Book を製作。本社にラボカフェという交流拠点を開設するなど「ゴムのコンサルタント」として、業界の未来へと貢献している。

つくる

すみだモダンフラッグシップ商品開発

クリエイティブディレクターの統括のもとに、コラボレーターと事業者の共創による商品開発を実施します。「デザイン経営」の考え方を盛り込み、コラボレーターとともにマーケティング・知財等を学ぶワークショップやセミナーに参加後、約3年をかけて商品開発に取り組みます。※本事業は2024年度をもちまして終了いたしました。

2シーズン制を導入した3年間のプロジェクト

参加事業者を公募し、その後、コラボレーターとのマッチングを経て、プロジェクトを決定します。すみだモダンの理念に基づき、その企業の「フラッグシップ」となる商品の開発には、ターゲットとなる市場をはじめ、自社の「強み」・「弱み」など、ものづくりにかかわる企業活動について改めて深く考えることが重要です。開始2年目での製品化、3年目での商品化を目標にスタートし、以降は事業者の自走を目指しています。



▲クリエイティブディレクターの廣田尚子氏

4つのアクション

学ぶ

ワークショップを通し自社を見つめ直す

公募により参加事業者を決定し、デザイン経営・商品企画・知財等の各ワークショップに参加し、コラボレーターとともに自社について考察します。



起こす

デザイン経営の視点で必要なモノ、コトを導く

コラボレーターによる現場視察、課題の共有等を経て、ともに新商品開発に取り組みたい相手の希望をもとに、マッチングを実施します。



創る

経営者・社員・コラボレーター、“みんなでデザイン”

ワークショップで得た知見をふまえ、商品企画・デザイン・試作等を繰り返し、販路の検討も含め、全員参加型 (co-design) で商品開発を進めています。



続ける

商品が売れることよりも企業経営が続くことを目的にデザイン経営の視点に立ち、参加事業者が無理のない持続可能な活動ができるよう、見直し・改善を随時行い、自走を目指していきます。



つくる

すみだモダンフラッグシップ商品開発 活動レポート

●マッチング [起こす]

2021年度、2022年度にそれぞれ、コラボレーターによる現場視察、課題の共有等を経て、ともに新商品開発に取り組みたい相手の希望をもとに、マッチングを実施しました。今年度は第1期・第2期の各プロジェクトの商品化支援に注力しました。

○プロジェクト協力者

クリエイティブディレクター

ヒロタデザインスタジオ
女子美術大学教授
廣田 尚子

第1期コラボレーター

CEMENT PRODUCE DESIGN 金谷 勉	stagio inc. 大友 学
リコー 総合デザインセンター	TOTO デザイン本部
KAICHI DESIGN 山田 佳一郎	

第2期コラボレーター

JIN KURAMOTO STUDIO
倉本 仁
STUDIO BYCOLOR
秋山かおり
コクヨ
ヨハクデザインスタジオ

○2021年度 [第1期] プロジェクトチーム



stagio inc.
大友 学 氏
×
廣田 硝子



stagio inc.
大友 学 氏
×
岩澤 硝子



KAICHI DESIGN
山田 佳一郎 氏
×
間中 木工所



リコー
総合デザインセンター
×
石井 精工

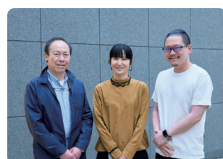


TOTO
デザイン本部
×
芝崎 合金 鑄造所

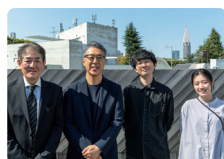
○2022年度 [第2期] プロジェクトチーム



JIN KURAMOTO STUDIO
倉本 仁 氏
×
東商 ゴム工業



STUDIO BYCOLOR
秋山 かおり 氏
×
片岡 屏風店



コクヨ
ヨハクデザインスタジオ
×
昌栄工業

○最終発表

第2期のプロジェクトが最終年度を迎えたタイミングで、すみだモダン、デザイン経営の考え方を改めて共有しつつ、第1期、第2期それぞれのプロジェクトチームごとに最終報告や今後の展望等について報告しました。
(2024年7月9日 SUMIDA INNOVATION COREにて開催)



つくる

すみだモダンフラッグシップ商品開発 活動レポート

●商品開発 [創る]

ワークショップで得た知見をふまえ、マッチングの成立した事業者とコラボレーターはチームとなり、商品企画・デザイン・試作等を繰り返し、販路の検討も含め、全員参加型で商品開発を進めていきます。各プロジェクトの進行状況は、随時すみだモダン公式サイトで取材記事として公開しています。

第1期プロジェクト



リサイクルガラスのアクセサリ
stagio inc. 大友 学氏×廣田硝子

“美しいリサイクルガラス”の事業化という難題に挑戦し、独自の研究を重ねながら、アクセサリの完成をめざしている。



FUTATSUKI
stagio inc. 大友 学氏×岩澤硝子

都内でも希少な「溶融窯」で職人がつくる“気取らない普段使いの硝子”の第一弾として、フタ付きのカップを完成させた。



MORI Bench
KAICHI DESIGN 山田 佳一朗氏×間中木工所

区内公園工事等でやむを得ず伐採した樹木を活用し、柴田コンクリートとの共創によりベンチを製作している。



MITATE 金属の割り箸
リコー総合デザインセンター×石井精工

金属加工技術を駆使し凸凹の「はめ合い」により割り箸を割るパキッと感を再現した。繰り返し使える金属製の割り箸。



人鳥願具 (ペンギンがんぐ)
TOTO デザイン本部×芝崎合金鋳造所

廃棄された水道の蛇口等も原料に活用しているペンギンのオブジェ。すみだ水族館の監修も得ながら愛らしい姿を再現。

第2期プロジェクト



Sample Book
JIN KURAMOTO STUDIO 倉本仁氏×東商ゴム工業

研磨工程で発生する端材をリサイクルした新素材の開発や、自社技術を広く伝えるためのツールとして素材の見本帳を制作。



扇-SENN-
STUDIO BYCOLOR 秋山 かおり氏×片岡屏風店

事業の主力である「節句」において「屏風」が主役となるプロダクトの開発を進め、折りたためる雛飾りを製作。



PRESS PRESS
コクヨ ヨハクデザインスタジオ×昌栄工業

平面から立体への金属の加工工程の見える化にアプローチし、金属加工の魅力と新たな視点を伝えていくブランドを展開。

つたえる

すみだモダンブランドコミュニケーション展開

すみだモダンの活動を多様なメディアを通して広く発信し、多くの人々の共感を得ることでファンの獲得を目指します。

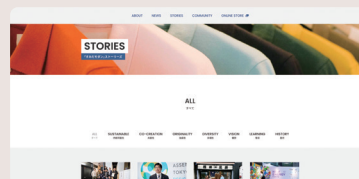
公式サイト

すみだモダンの情報を網羅するメディアを運営



つながる=パートナーシップ連携、つくる=フラッグシップ商品開発、つたえる=コミュニケーション展開という3つの事業を核に深化を続ける地域ブランド「すみだモダン」。そのすべてがわかるホームページです。「STORIES」ではすみだモダンに関する人びとのインタビューやイベント記事を次々と更新中。ものづくりの物語を、持続可能性・共創性・独自性・多様性・構想・育成・歴史という7つの視点から深く知ることができます。ものづくり・まちづくり・未来づくりのヒントが満載のサイトです。

<https://sumida-brand.jp>



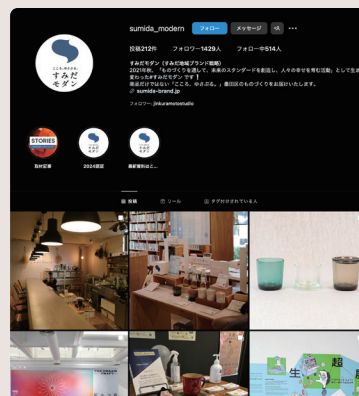
SNS (Instagram) の運用

商品やイベントの情報をスピーディに発信



Instagram公式アカウントは、すみだモダンに出会い、マインドに触れる入り口。200点近くある認証活動・認証商品やさまざまなプロジェクトの紹介をはじめ、展示・ワークショップなどのイベント、メディア出演の最新情報もキャッチできます。すみだモダン公式サイトへのリンクも張られているので、商品や作り手に興味を感じたら、その奥深いストーリーを知る近道にもなります。X, Facebookでは墨田区産業振興課の公式アカウントとして「ものづくりのまち すみだ」も展開中です。

@sumida_modern



区内での展示とモニタリング事業

すみだのまちで会える、すみだモダン

墨田区内の4つの施設、八広図書館・ひきふね図書館・墨田区庁舎・すみだ産業会館にて、すみだモダン認証商品を展示。すみだモダンという地域ブランドを、区内に広めるための取り組みです。

また、国内外の観光客にすみだモダンの商品を使っていただくプロモーションとして、東京ミズマチ（墨田区向島）にあるWISE OWL HOSTELS RIVER TOKYOでは、認証商品のモニタリングを行っています。



つたえる

催事実績

「すみだモダン」を広めるため、区内外でさまざまなイベントを開催しています。



〜こころ、ゆさぶる商品に出会う〜 すみだモダン2023-2024認証POP UP
2025年1月〜2月 | GOOD DESIGN STORE TOKYO by NOHARA



展示会「NEW ENERGY TOKYO」
2025年2月 | 国立代々木競技場 第一体育館



未来をつなぎ、はぐくむ ものづくりのまち すみだモダン2024ブランド認証展
2025年3月 | coto mono michi at TOKYO

台湾・千葉大学連携

三者協定について

台湾デザイン研究院（以下TDRI）が有する“世界有数の製品デザイン技術”、そして、千葉大学が有する“サービスデザイン・視覚伝達デザイン等のあらゆる領域のデザインに関する知見”を融合し、すみだのものづくり並びにその産業の更なる発展を目指し、2023年10月に墨田区は、TDRI及び千葉大学との三者協定を締結しました。

実施概要

TDRIディレクションのもと、墨田区企業と台湾企業の連携による商品開発、台南市で行われた「台湾設計展 (Taiwan Design Expo in Tainan)」での共同展示等を実施しました。千葉大学とは、すみだモダンのプロモーションツールの製作を実施しました。



台湾デザイン研究院 (TDRI) 連携



墨田区企業と台湾企業の連携による商品開発



台南の香り×すみだレザー
N senses (台湾のアロマブランド) × 東屋

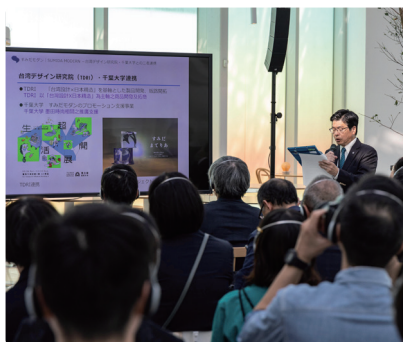


BUTTON HOOK「すみだ×台南」
AXXY COOL (台南市のイラストレーター) × オレンジトーカー



カフェ「春室」食器
南美春室 THE POOL (台湾のガラスメーカーが運営するカフェ) × 山田硝子

台湾設計展 + 南美春室 THE POOL ポップアップ | 2024年10月~11月 - 台南市



「台湾設計展2024」にて台南市との共同展示、展示施設内の南美春室 THE POOLにてポップアップ、トークイベント等を実施。

p14-15 画像提供：台湾デザイン研究院、第二屆匠心之夢全國文創工藝競賽得獎作品展、N senses、オレンジトーカー株式会社

台湾・千葉大学連携

「匠心之夢」受賞作品展 | 2024年10～11月-新竹県



台湾のクラフトアワード「匠心之夢」の招待によりすみだモダン認証商品の展示を実施

或者書店 POP UP | 2024年12月-新竹県



すみだモダン認証商品等の展示販売、墨田区企業が登壇するトークイベントを実施

千葉大学連携

すみだモダンプロモーションツール

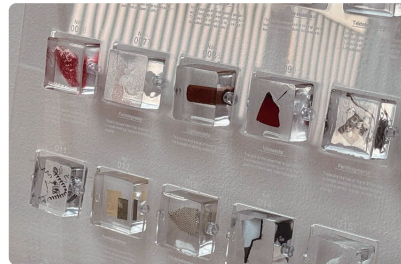


区内企業から提供を受けた製品端材を活用したキューブ・タグの展示、ものづくり事業者の「人」を紹介する「職人カード」の配布や動画制作を実施し、新たな視点で区内産業をPR。端材が生じた過程、各事業者のすみだモダン認証商品をオンライン上の特設ページで紹介し、材料から製品に至るまでの流れも伝えている。

キューブ



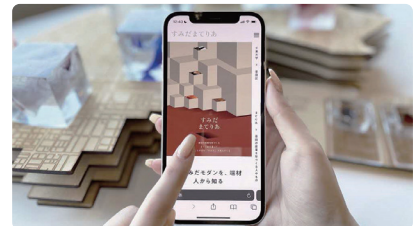
端材標本表



職人カード



展示



「すみだまでりあ」は、区内イベントや台湾設計展2024にて展示及びPRを実施した。

すみだ地域ブランド推進協議会 理事会

理事長	水野 誠一	(株) IMA 代表取締役
副理事長	田中 一雄	(株) GKデザイン機構 代表取締役社長
理事	廣田 尚子	(有) ヒロタデザインスタジオ 代表取締役
	郡司 剛英	墨田区産業観光部 部長
監事	中田 清史	東京東信用金庫 理事長

すみだモダンブランド認証審査会

審査員長	田中 一雄	(株) GKデザイン機構 代表取締役社長
審査員	水野 誠一	(株) IMA 代表取締役
	廣田 尚子	(有) ヒロタデザインスタジオ 代表取締役
	中田 清史	東京東信用金庫 理事長
	高橋 正実	MASAMI DESIGN 代表取締役
	坂口 真生	GENERATION TIME (株) 代表取締役
	植田 憲	国立大学法人千葉大学 教授/デザイン・ リサーチ・インスティテュート センター長
	郡司 剛英	墨田区産業観光部 部長

お問い合わせ先：「すみだ地域ブランド推進協議会」事務局

墨田区産業観光部産業振興課内

TEL: 03-5608-6188 | FAX: 03-5608-6934

MAIL: BRAND@city.sumida.lg.jp

HP: sumida-brand.jp | INSTAGRAM: @sumida_modern

